

## 胆沢ダム建設に従事した大型建設機械

～胆沢ダム建設に活躍～

### 【当時】

原石山で堤体材料を積み込む状況



堤体盛立面で堤体材料を荷下ろす状況



#### ■90t積ダンプトラックの仕様

|             |           |
|-------------|-----------|
| 最大積載量       | 90.5 t積   |
| 運転質量        | 64.85 t   |
| 車輛総重量       | 155.35 t  |
| 最高速度        | 60.4 km/h |
| 全長          | 9.8 m     |
| 全幅          | 6.1 m     |
| 全高(キャビ上端まで) | 5.0 m     |
| 駆動方式        | 4輪駆動      |

#### ■90t積ダンプトラックの機関

|         |               |
|---------|---------------|
| 形式      | ターボ付ディーゼルエンジン |
| 定格出力    | 699KW(951PS)  |
| 総排気量    | 34,500 cc     |
| 燃料タンク容量 | 1,137 ㍓       |

### 【現在】



90t積ダンプトラックのタイヤ  
(直径2.7m)

奥州湖交流館



奥州湖交流館前で  
展示中

胆沢ダム建設事業では大量に使用するダムの堤体材料(岩石や土など)の運搬に、一般のダンプトラック(10t積)よりも大きい、38t積から最大90t積のダンプトラックが使用されました。

写真のダンプトラックは胆沢ダムで最大のダンプトラックで1回あたり最大90tの堤体材料を運搬できる国内最大級のもので、タイヤだけでも直径が2.7mもあります。

現在は当時活躍した90t積ダンプトラックのタイヤがダム直下の「奥州湖交流館」前に展示されています。